



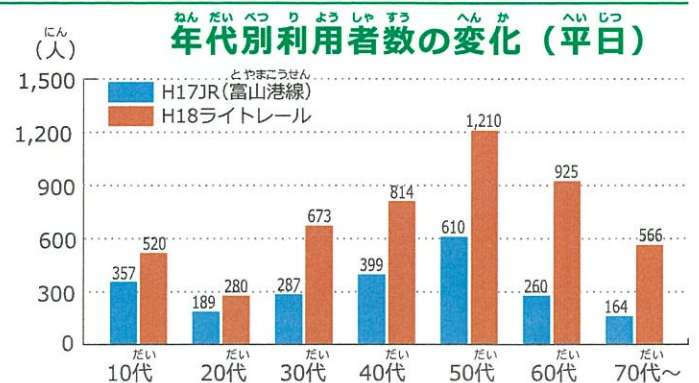
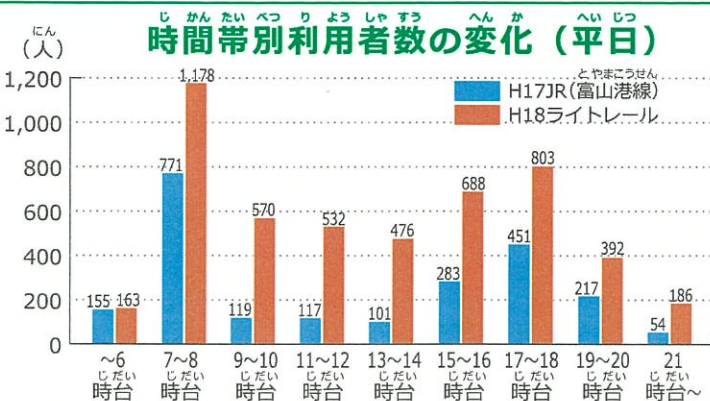
富山港線を活用した富山市の 新しいまちづくりについて調べよう

富山港線が運行している場所 R2.3月～富山港線は市内電車と接続



富山港線の利用者数(令和2年3月20日現在)

平日 4,779人/日 (開業前2,266人/日) 休日 3,444人/日 (開業前1,045人/日)



路面電車の南北接続ろ めん でんしゃの南北接続なんぼくせつぞく あたら **新しいまちづくり** しら **について調べよう**

路面電車の南北接続ろ めん でんしゃ なんぼくせつぞく

【南北接続前】

路面電車を乗り換えるには地下道を通る必要があったよ。お年寄りや身体の不自由な人は大変だったんじゃないかな。



【南北接続後】(R2.3.21開業)

令和4年4月現在



南北自由通路



富山駅停留場

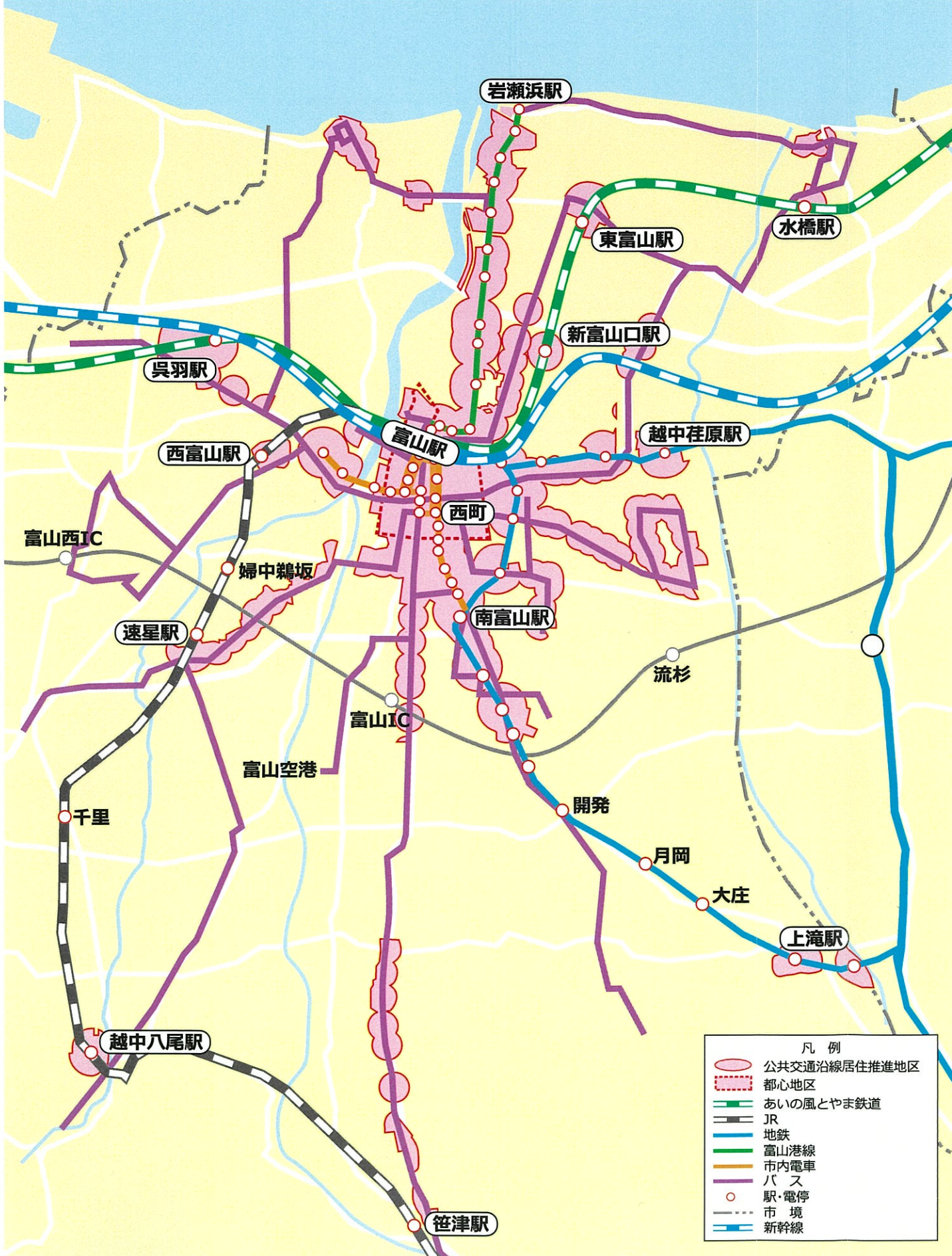


駅の中に停留場ができれば、雨に濡れずに短時間で、新幹線などのほかの公共交通と乗り換えられるようになったんだね。

高速鉄道と路面電車がりつたいこうさえきせかい立体交差する駅は世界でも珍しいんだって。



公共交通を活用した富山市の新しいまちづくりについて考えよう



世帯あたりの自家用車保有台数

1.7 (台)
1世帯あたり

全国第2位
富山県

(自動車検査登録情報協会[令和4年3月末現在])

自家用車保有台数の増加

普通車は1.4倍に増加 (全国平均1.2倍)

軽自動車は9.8倍に増加 (全国平均8.8倍)

富山市の乗用車保有台数の推移

	1990年	2020年
普通車	127,276台	172,626台
軽自動車	10,826台	106,457台

(出典:富山市統計書R2, 日本自動車工業会R2)

自由に車を使えない人

(出典:平成18年富山市の公共交通に関する意識調査)

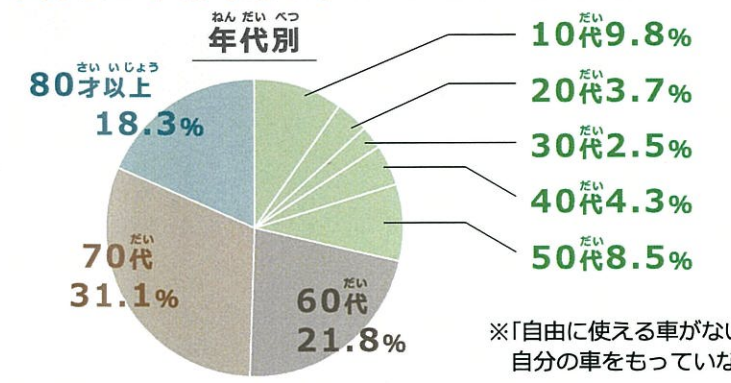
自由に使える車がない



自由に使える車がある

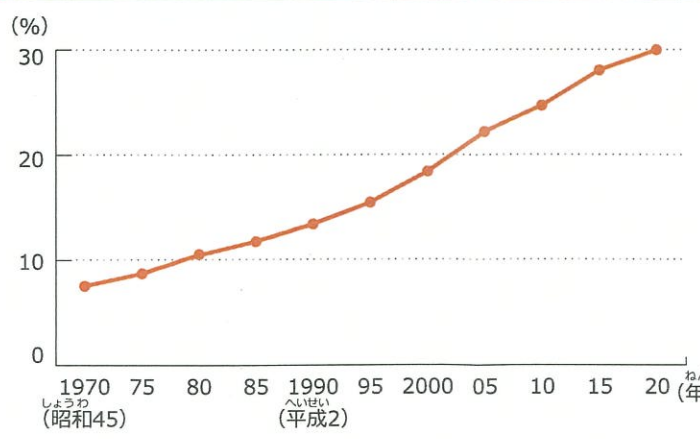


自由に車が使えないのは、どんな人？



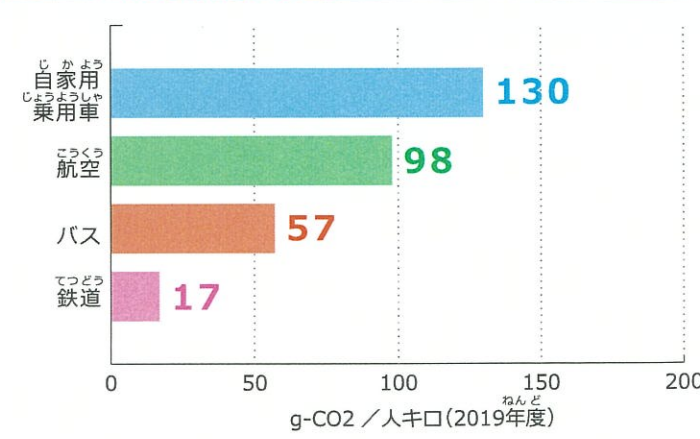
※「自由に使える車がない人」とは、運転免許証がない人や、自分の車をもっていない人を指します。

富山市の65才以上の人口の割合



(出典:東京書籍「新しい社会6政治・国際編」、第2次富山市総合計画 後期基本計画)

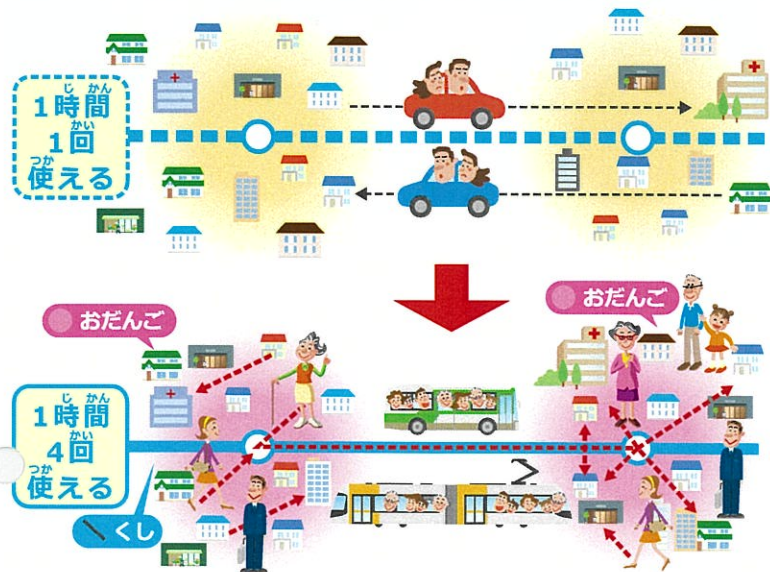
1人を1km運ぶのに排出される二酸化炭素の量



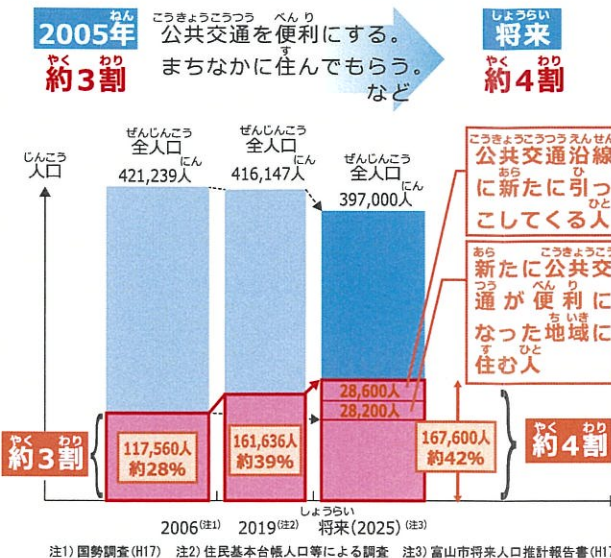
(出典:国土交通省HP)

とやまし 富山市の「くしとだんごのまちづくり」

とやまし めざ 富山市が目指しているまち



こうきょうこうつう 公共交通の便利な地域に住む人を増加



買い物や病院に行くのに電車があると生活しやすいね。車は運転できないけれど、いつでも気軽に出かけることができるよ。

公共交通があると、富山市内や岩瀬方面への観光にも行きやすいね。また、富山に来たくなったよ。

毎日学校に通うのに電車を使っているけど、とても便利だよ。将来、公共交通も上手に使っていきたいな。

「くしとだんごのまちづくり」はSDGs(エスディージーズ=持続可能な開発目標)につながる取り組みです

ロゴ: 国連広報センター作成

- **持続可能って?**
今、自分のまわりのことだけでなく、未来のみんなや地球も今みたいにくらせるということ。
- **持続可能な開発って?**
将来の世代のための環境や資源をこわさずに、今の生活をよりよい状態にすること。
- **SDGs(エスディージーズ=持続可能な開発目標)って?**
「持続可能な開発のための17の目標」
世界の人々にとって、貧困を終わらせ、平等な機会を与えられ、地球環境をこわさずに、より良い生活をおくことを目指して世界中が努力することを約束しました。2016年から2030年までの15年間で、世界中で取り組んでいきます。

とやまし めざ 富山市が目指している将来

日常的に歩き、健康に暮らす、新たなライフスタイルの提案

現在の生活スタイル
車移動中心で、日常生活であまり歩かない

将来
〈人〉
 ・運動習慣がないため、高齢になると身体がおとろえ、不自由な生活になる可能性が高い
 ・外出することが少なく、生活のハリや生きがいが少ない
〈まち〉
 ・外出する人が少なく、まちなかがにぎわいを失う

てん かん
転換

日常的に歩く生活

将来
〈人〉
 ・長生きし、元気で自立している
 ・すすんで外出し、人との交流の中で生きがいや楽しみをもっている
〈まち〉
 ・外出する人が多く、まちなかがにぎわっている

とやまし こうつうせいさくか 富山市交通政策課 職員の話

富山市は住む所や買い物をする所がいろいろな場所にちらばっているため、車がないと移動するのが不便です。そこで富山市では、家や店などが集中する場所(おだんご)を公共交通(くし)でつなぐ「くしとだんごのまちづくり」に取り組んでいます。ちらばったまちを集中した場所(おだんご)に変えて、公共交通を使う人を増やし、公共交通(くし)を使いやすくすることで、車を使わなくても移動できるようにしたいと考えています。

